

令和7年度 指定管理者モニタリング年度評価表

1 目標の達成度についての評価

別紙のとおり

2 仕様書等に定める管理運営水準についての評価

評価項目		指定管理者 評価	教育委員会 評価
(1) 適正な管理運営			
管理運営 体制	人員の配置及び職員体制は適正か。	A	A
	職員の能力向上に向けた取組など人材育成は行われているか。	S	S
	労働基準法など関係法令に従って職員の労働管理は適正に行われているか。	A	A
情報管理	個人情報及び業務上知り得た機密事項を適正に管理しているか。	A	A
	著作権法等を遵守し、資料の無断転載の防止は徹底できているか。	A	A
危機管理	利用者の安全対策(事故防止等)及び危機管理は適切に行われているか。	A	A
	消防法に基づき、防火管理に関する必要な措置は講じられているか。	A	A
環境配慮	省エネルギー等環境への配慮は十分になされているか。	A	A
指定管理者 の責務	法令・協定書等を遵守しているか。	A	A
	申請、届出など必要な手続きを、適切な時期に適正に行っているか。	A	A
(2) 事業計画の達成、サービスの水準			
運営業務	施設の設置目的、運営方針に沿って適切に運営されているか。	A	A
	仕様書、事業計画の水準を満たした施設の運営が行われているか。	A	A
	提案事業・自主事業を計画どおり効果的にやっているか。	A	A
	図書館の施設・設備を有効に活用できているか。	S	S
	図書の選定・購入は適切に行われているか。	A	A
	地域・関係機関・ボランティアなど外部団体との連携は推進されているか。	S	S
管理業務	施設・設備等の保守・検査を適正に行い、安全性・快適性を確保できているか。	A	A
	清掃・植栽管理等を適正に行い、衛生的で美しい環境を維持しているか。	A	A
	文書・備品等を適正に管理しているか。	A	A
利用者対応	利用者の意見を取り入れる取組や苦情等の対応は適切に行われているか。	S	S
	利用者に対する接遇及び相談業務は適切に行われているか。	A	A
利用促進	利用促進のための取組を十分に行っているか。	A	A
	ホームページ・パンフレットなど情報発信を積極的に行っているか。	S	S
(3) 収支等			
経理	仕様書等に沿って経理処理を適正に行っているか。	A	A
収支	収支の状況に不適切な点はないか。	A	A
経費節減	収入増加又は経費の抑制等が図られているか。	A	A
(4) その他			
今後の課題 等	事業報告書に記載のとおり		

評 価 項 目		指定管理者 評価	教育委員会 評価
(5) 総合評価			
指定管理者	事業報告書に記載のとおり		
教育委員会	全ての評価項目について、仕様書及び事業計画の基準を遵守し、概ねそれらに沿った水準または一部ではそれより優れた内容の項目もあった。適時状況に応じて対応し、積極的に図書館のアピールも行いながら、適切な管理運営を行うことができた。 人材育成では、各スタッフの職域に応じた各種研修や新人育成等、図書館職員のレベルアップに繋がる取組がなされ、サービスの質的向上に役立った。 外部連携では、様々な団体等と協力しつつ、利用者に対し高い水準のサービスを提供することができた。 情報発信では、X(旧ツイッター)とホームページを中心に様々な内容の周知を行い、図書館を知ってもらうことで、新規利用者の獲得にも繋がった。 今年度は新たな指定管理期間のスタートを切る1年となり、大きなトラブルもなく、真摯に図書館運営に取り組まれたことは、大いに評価したい。教育委員会の総合評価は、A評価とする。引き続き工夫を凝らし、熱意のある管理運営に努めてもらいたい。		
総合評価		A	A

【評価基準】

- S: 仕様書、事業計画の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A: 仕様書、事業計画の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B: 仕様書、事業計画の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C: 仕様書、事業計画の基準を遵守できていない又はその水準を下回る内容である。

令和7年度 徳島市立図書館指定管理における 目標の達成度についての評価

1 施設の概要

- (1) 施設名 徳島市立図書館
- (2) 所在地 徳島市元町1丁目24番地
- (3) 設置目的
図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため。
- (4) 開館年月日 平成24年4月1日
- (5) 総面積 約3,400㎡

2 指定管理者の概要

- (1) 団体名 株式会社図書館流通センター
- (2) 所在地 東京都文京区大塚三丁目1番1号
- (3) 指定期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日まで(5年間)
- (4) 指定管理者が行う業務の内容
 - ① 図書館事業に関する業務
 - ② 図書館資料貸出及び施設等利用の承諾に関する業務
 - ③ 図書館及び図書館施設の維持管理に関する業務
 - ④ その他教育委員会が必要と認める業務

3 評価結果

1 目標の達成度

評価項目	目標値	単位	備考	実績	指定管理者 評価	教育委員会 評価
基本的事項						
入館者数	420,000	人／年	・毎月35,000人×12ヶ月 ・新規登録者数、アンケート満足 度などを重視	421,764	S	S
貸出冊数(一般室)	480,000	冊／年	・毎月各館40,000冊、25,000冊、 10,000冊×12ヶ月 ・特集展示の回数や内容、実利 用者数を重視	505,272	S	S
貸出冊数(こども室)	300,000	冊／年		316,297	S	S
貸出冊数(移動図書館)	120,000	冊／年		113,366	B	B
所見	「入館者数」については、増加しており目標値を達成できた。「貸出冊数」については、猛暑による天候の影響もあってか、移動図書館において目標値を下回ったものの、他の部署においては目標値を上回った。 利用者へのアンケート調査においては、図書館スタッフの接客対応や利用環境に関する満足度が高く、高水準のサービスの提供を維持できている。 各館合わせて年間100件を超える特集展示が、利用者と本とを結び付け、貸出に繋がっている。テーマ選びもさることながら、選書や展示方法にも各館それぞれの工夫が凝らされている点を大いに評価したい。 今後も引き続き、利用者ニーズに合ったサービスの提供を行い、新規利用を含めた利用者の増加に努めてもらいたい。					
運営方針①(子どもの成長支援)						
子どもサービス参加人数(館外含む)	4,800	人／年	・毎月400人×12ヶ月 ・アニメーションに係る取組、アンケート満足度、ボランティアとの協同などを重視	5,056	S	S
YAボランティアの延べ参加人数	120	人／年	・毎月10人×12ヶ月 ・活動内容などを重視	156	S	S
所見	「子どもサービス参加人数」については、目標値を上回ることができた。ボランティア団体協力のもと毎日2回実施するおはなし会や、各種イベントの実施等による成果である。 「YAボランティアの延べ参加人数」についても、目標値を上回った。中高生が様々な活動を通じて図書館に親しむことは、よい経験になったと考える。今後も、ボランティア活動を通じて、若い中高生世代の本への興味・関心を引き出してもらいたい。					

運営方針②(地域の成長支援)						
外部との連携事業	60	件／年	・毎月5件×12ヶ月 ・新規連携先の開拓、連携先の満足度、参加者の満足度、図書館としてのアピールなどを重視	94	S	S
データベースの利用	60	件／年	・毎月5件×12ヶ月 ・6データベースの合計件数 ・周知に係る取組、活用講座の参加者数や満足度などを重視	44	B	B
所見	「外部との連携事業」については、今年度も目標値を大きく上回る実績を残すことができた。新たな連携先も開拓し、各団体の協力のもと、図書館だけではできない様々なサービスを提供することで、利用者サービス及び満足度の向上に繋げることができた。 「データベースの利用」については、目標値を下回った。利用件数が低迷しているため、今後も周知に力を入れ、新規利用者及びリピーターの獲得に取り組んでほしい。					
運営方針③(市民の学習支援)						
電子図書館の閲覧回数	9,600	回／年	・毎月800回×12ヶ月 ・周知に係る取組などを重視	12,492	S	S
国立国会図書館レファレンス協同データベース登録件数	60	件／年	・毎月5件×12ヶ月 ・国立国会図書館からの御礼状、活用件数や方法などを重視	83	S	S
所見	「電子図書館の閲覧回数」については、目標値を達成できたものの、秋頃から減少傾向にある。コンテンツ数は確保しているため、選書等において工夫を行い、長期的な利用に繋げてもらいたい。 「国立国会図書館レファレンス協同データベース登録件数」については、順調に実績を重ね、目標値を大きく超えて達成することができた。今年度もその貢献度が高く評価され、国立国会図書館から御礼状をもらうことができた。					
利用促進						
広報活動①(メディア掲載数等)	12	件／年	・毎月1件×12ヶ月 ・積極的な売り込みなどを重視	18	S	S
広報活動②(ホームページ及びツイッター掲載数、チラシ作成数)	360	件／年	・毎月30件×12ヶ月 ・閲覧数や「いいね」の数、教育委員会との連携、移動図書館のツイッター掲載数などを重視	668	S	S
読書記録帳新規登録数	600	件／年	・毎月50件×12ヶ月 ・周知に係る取組などを重視	680	S	S
所見	「広報活動①」については、目標値を上回り、様々なイベントが取りあげられ、図書館のPRに繋がった。 「広報活動②」については、今年度も目標値を大きく上回った。ホームページはもちろん、X(旧ツイッター)も様々な情報を投稿することができた。 「読書記録帳新規登録数」についても、実績を重ね、目標を達成することができた。徳島市立図書館の特徴的なサービスの一つとして定着してきており、認知度向上にも寄与している。					
2 仕様書等に定める管理運営水準の達成状況						
管理運営水準(適正な管理運営、事業計画の達成・サービスの水準、収支等)						
所見	モニタリング(事業報告、連絡調整会議、実地調査等)を通じて確認したところ、管理運営状況は仕様書等に定める水準を満たしており、一部でその水準を上回る取組も確認できており、良好である。				A	A
総合点数(100点満点)		87点	総合評価(S～C)		S	S

【評価基準(1目標の達成度)】

- S:優れた事業や取組が見られ、目標値を大きく上回る顕著な成果があった。
- A:事業計画のとおり事業を実施し、目標値を達成することができた。
- B:目標値を達成することができなかったが、優れた取組が見られた。
- C:事業計画のとおり実施したが、目標値を達成することができなかった。
- D:事業計画のとおり実施できず又は実施したが工夫が見られず、目標値を達成できなかった。

【評価基準(2仕様書等に定める管理運営水準の達成状況)】

- S:仕様書等に定める管理運営水準を達成できており、問題は見当たらなかった。
- A:仕様書等に定める管理運営水準について、改善を要する軽微な事項があった。
- B:仕様書等に定める管理運営水準について、改善を要する軽微な事項が多数あった。
- C:仕様書等に定める管理運営水準について、重大な瑕疵があった。(または業務改善に関する通知書を受けた。)

【総合評価】

- S(80点以上):管理運営状況は著しく良好である。今後も継続して同様の取組を推進すること。
- A(70点以上):管理運営状況は概ね良好である。更なる発展のための取組を行うことが望ましい。
- B(60点以上):管理運営状況は水準並みと認められるが不十分な面もある。事業の総括等が必要である。
- C(60点未満):管理運営状況に問題が見られる。問題点を早急に整理し、事業の見直し等を行うこと。